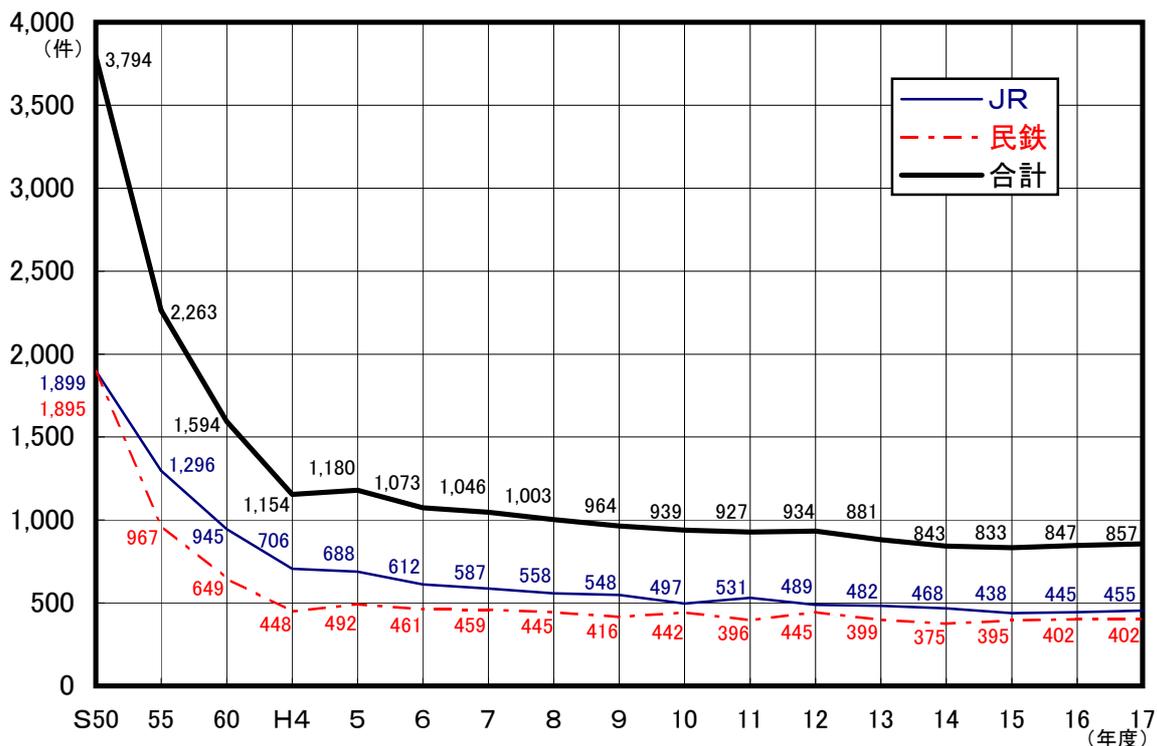


# 平成17年度鉄道事故等の発生状況について

- 1 運転事故件数の推移
- 2 列車百万キロ当たり運転事故件数の推移
- 3 事故種類別の運転事故の発生状況
  - ① 合計
  - ② J R
  - ③ 民鉄（合計）
  - ④ 民鉄（鉄道）
  - ⑤ 民鉄（軌道）
- 4 運転事故による死傷者数
  - ① 死傷者数の推移
  - ② 事故種類別死傷者数
  - ③ 事故種類別死亡者数
- 5 踏切事故件数
  - ① 踏切事故件数の推移
  - ② 原因別・踏切種類別踏切事故件数
  - ③ 衝撃物別・原因別踏切事故件数（J R）
  - ④ 衝撃物別・原因別踏切事故件数（民鉄）
- 6 インシデント事態別報告件数
- 7 輸送障害件数の推移
  - ① 合計
  - ② 列車百万キロ当たり輸送障害件数の推移
  - ③ J R（在来線）
  - ④ J R（新幹線）
  - ⑤ 民鉄（鉄道）
  - ⑥ 民鉄（軌道）
- 8 事業者別運転事故件数
  - ① J R（在来線）
  - ② J R（新幹線）
  - ③ 大手民鉄（鉄道）
  - ④ 公営地下鉄等（鉄道）
- 9 事業者別輸送障害件数
  - ① J R（在来線）
  - ② J R（新幹線）
  - ③ 大手民鉄（鉄道）
  - ④ 公営地下鉄等（鉄道）

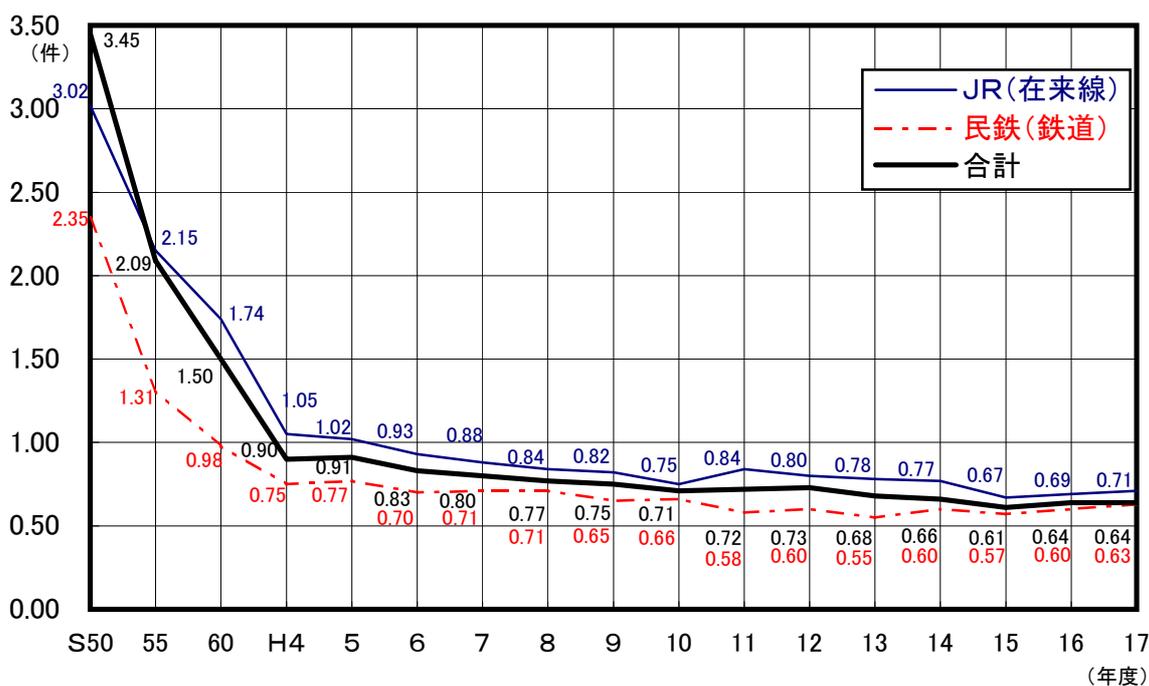
## 1 運転事故件数の推移

平成17年度の運転事故は対前年度比10件(1.2%)増の857件となっており、長期的には減少傾向にあるが、近年、ほぼ横ばいで推移している。



## 2 列車百万キロ当たり運転事故件数の推移

平成17年度の列車百万キロ当たりの運転事故件数は長期的には減少傾向にあるが、近年、ほぼ横ばいで推移している。

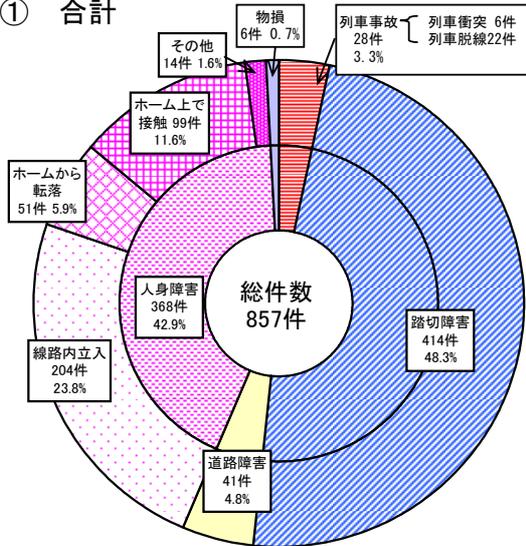


注：小数点以下第3位を四捨五入している。

### 3 事故種類別の運転事故の発生状況

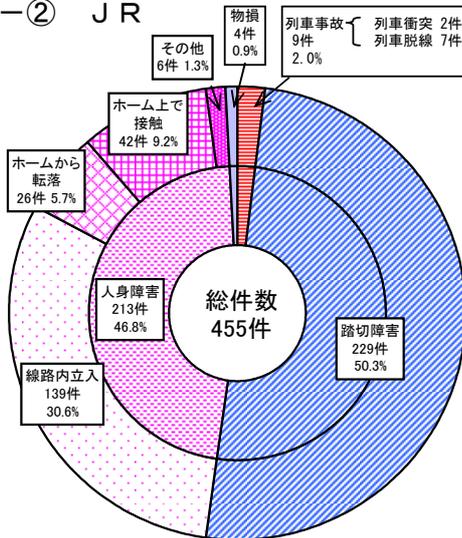
平成17年度の運転事故の内訳を見ると、踏切障害事故が414件(48.3%)、人身障害事故が368件(42.9%)発生しており、この二つの事故で運転事故の約90%を占めている。また、列車事故※注1は前年度より11件(28.2%)減の28件(3.3%)であった。

3-① 合計

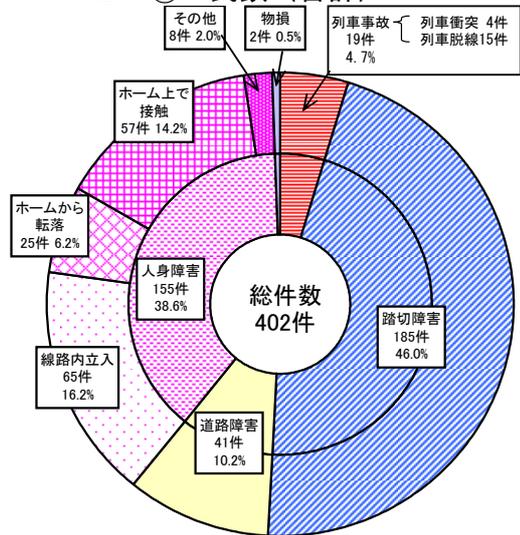


列車脱線のうち  
踏切事故に起因するものは5件  
(JR 2件、民鉄 3件)

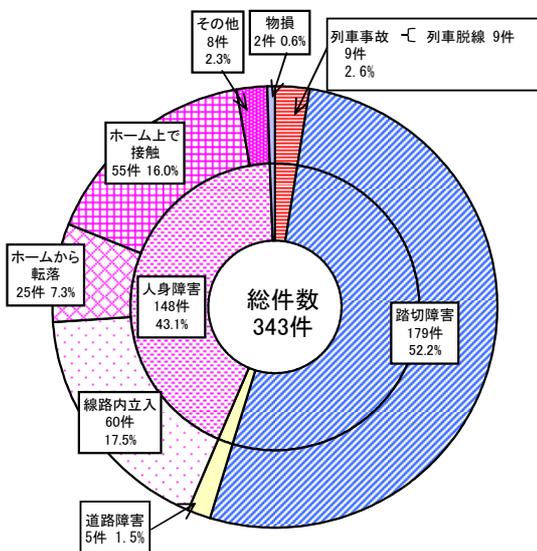
3-② JR



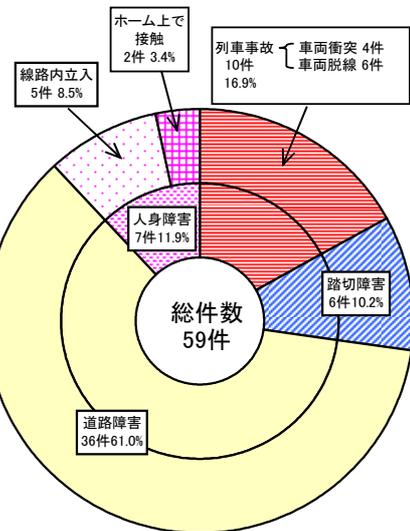
3-③ 民鉄 (合計)



3-④ 民鉄 (鉄道)



3-⑤ 民鉄 (軌道)



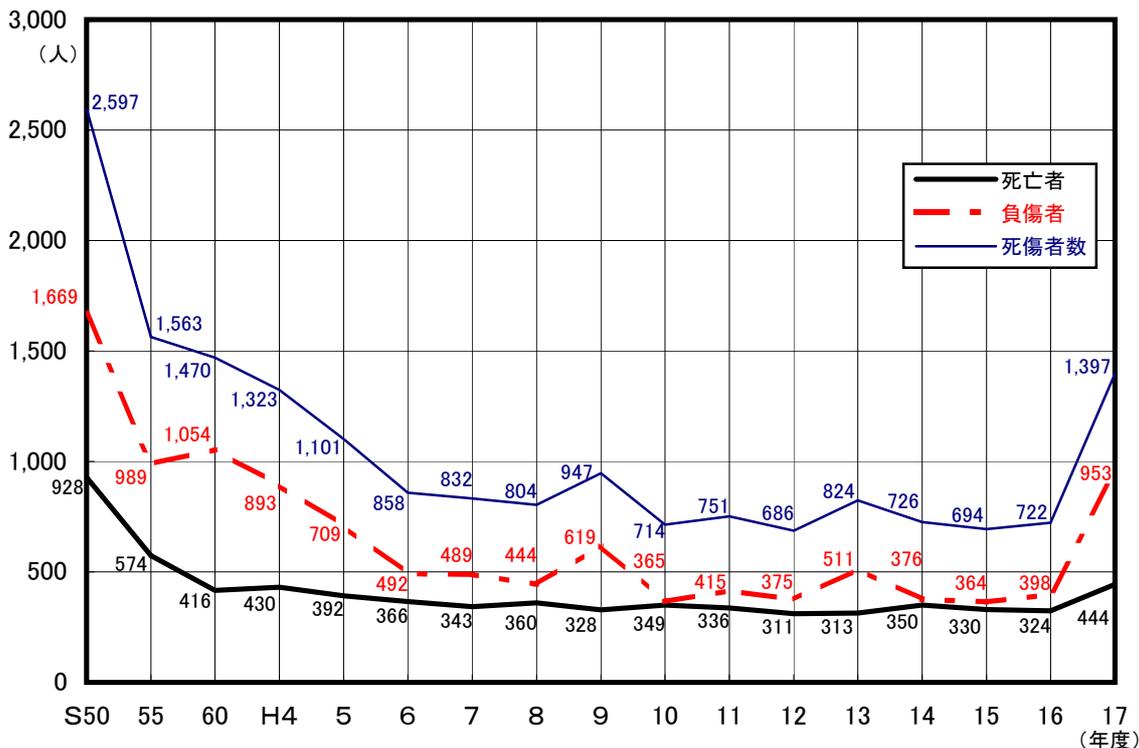
注1：列車事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故及び列車火災事故をいう。

注2：人身障害事故において「線路内立入」とは、歩行者が踏切道以外の線路上で列車等と接触し、死傷した事故等を指す。また、「その他」には、線路内で作業していた係員の触車事故や事業者側に責任のあった事故等が含まれる。

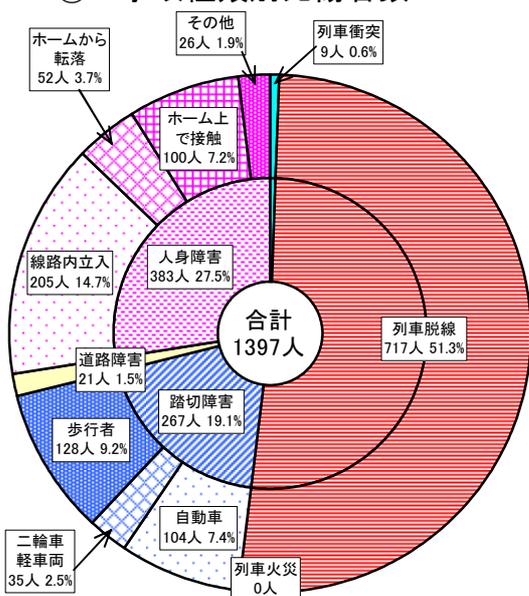
## 4 運転事故による死傷者数

平成17年度の運転事故による死傷者数は、平成17年4月25日にJR西日本福知山線において発生した列車脱線事故の影響により、1,397人(うち、死亡者は444人)となり、前年度に比べて675人(93.5%)増加(うち、死亡者は120人(37.0%)増加)した。また、運転事故による死亡者のうち、列車脱線事故によるものは112人、踏切事故によるものは137人、人身障害事故によるものは194人で、前年度に比べて列車脱線では105人(1,500.0%)増加、踏切事故では7人(4.9%)減少、人身障害事故では17人(9.6%)増加した。

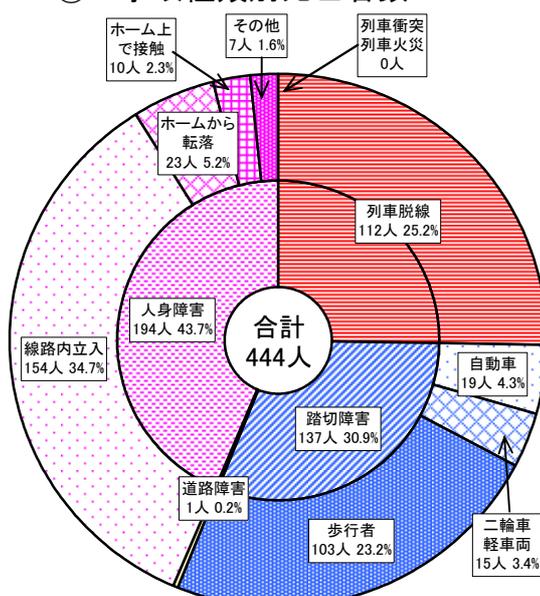
### 4-① 死傷者数の推移



### 4-② 事故種類別死傷者数



### 4-③ 事故種類別死亡者数



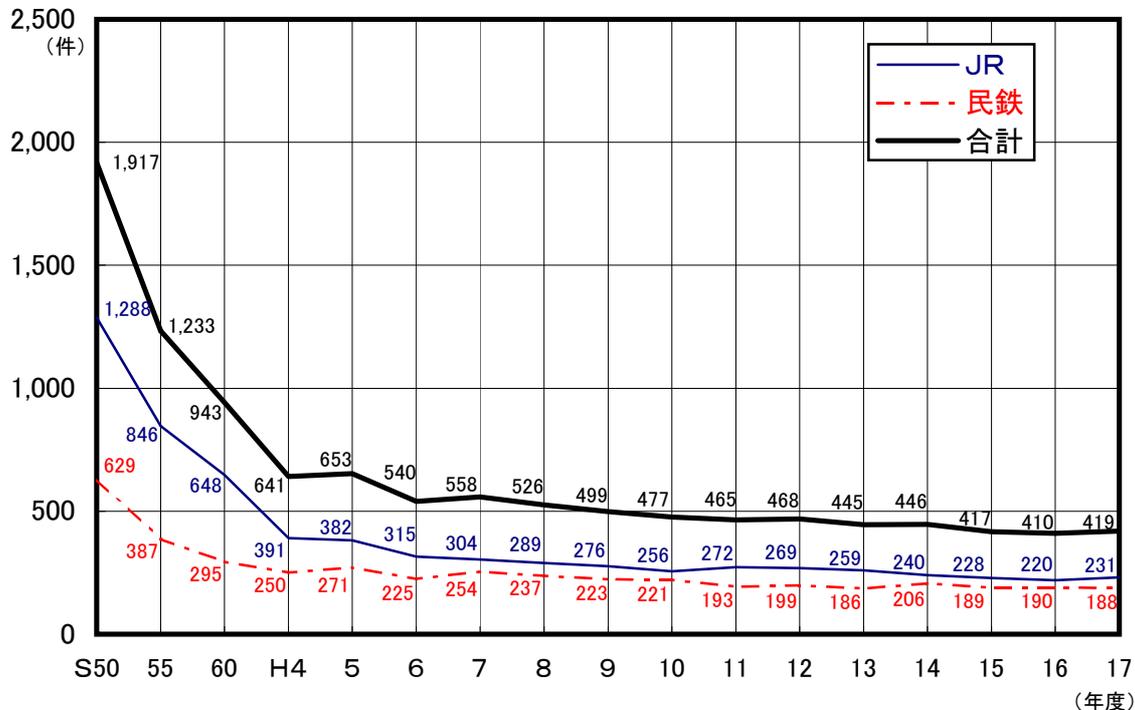
注：平成17年度において、乗客の死亡者は111人

〔 H17.4.25 JR西日本福知山線 列車脱線事故：106人 〕  
 〔 H17.12.25 JR東日本羽越線 列車脱線事故：5人 〕

## 5 踏切事故件数

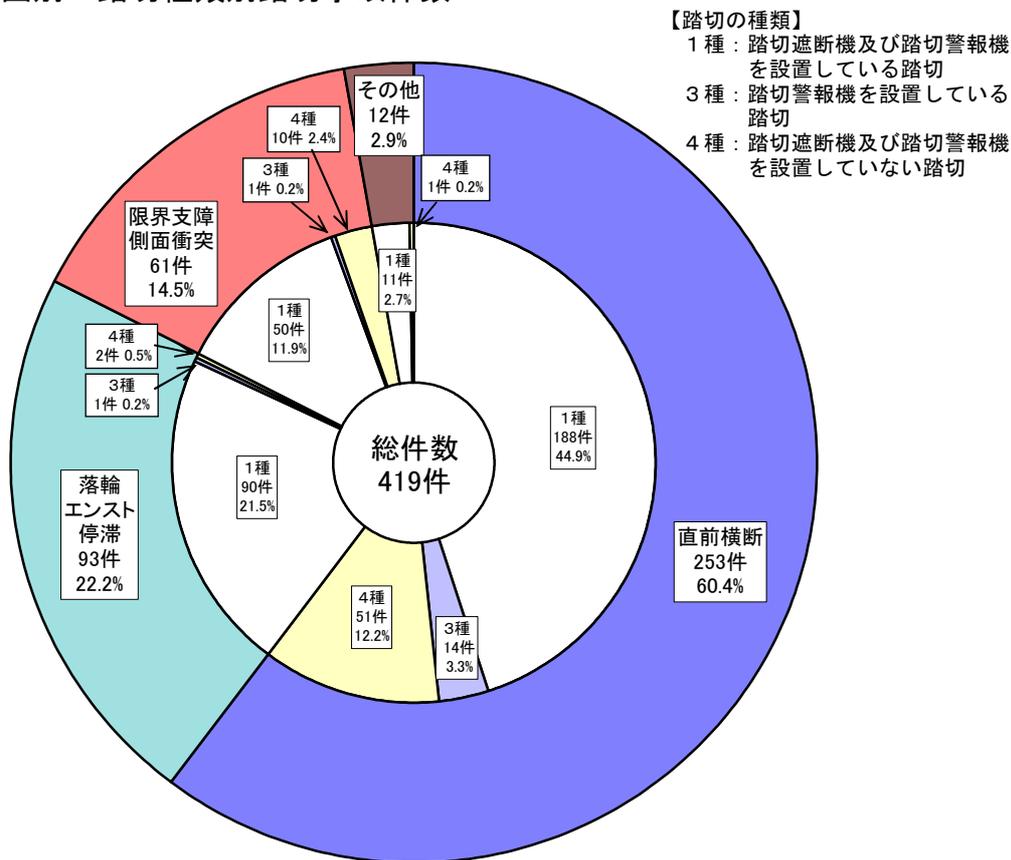
踏切事故は長期的には減少傾向にあるが、平成17年度においては運転事故全体の約半数(48.9%)を占める419件(踏切事故に起因する列車脱線事故5件を含む)の踏切事故が発生した。なお、踏切事故のうち、直前横断によるものが253件発生しており、踏切事故全体の60.4%を占めている。

### 5-① 踏切事故件数の推移



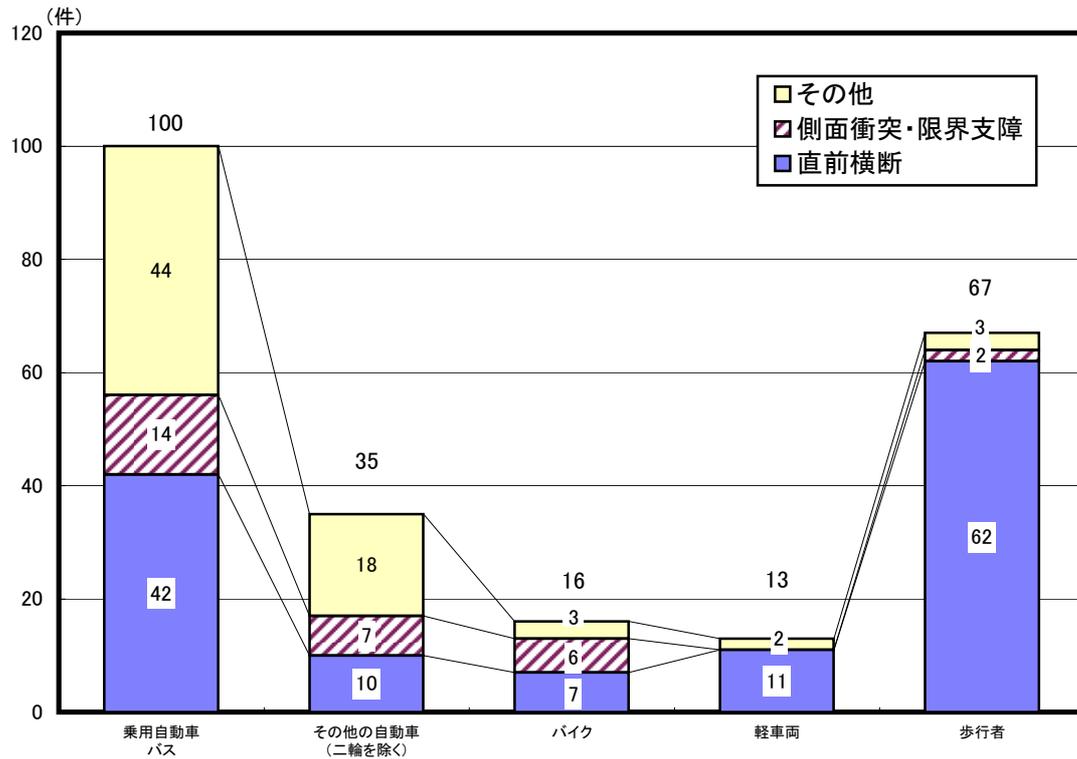
注：踏切事故とは、運転事故のうち踏切障害事故及びこれに起因する列車事故をいう。

### 5-② 原因別・踏切種類別踏切事故件数

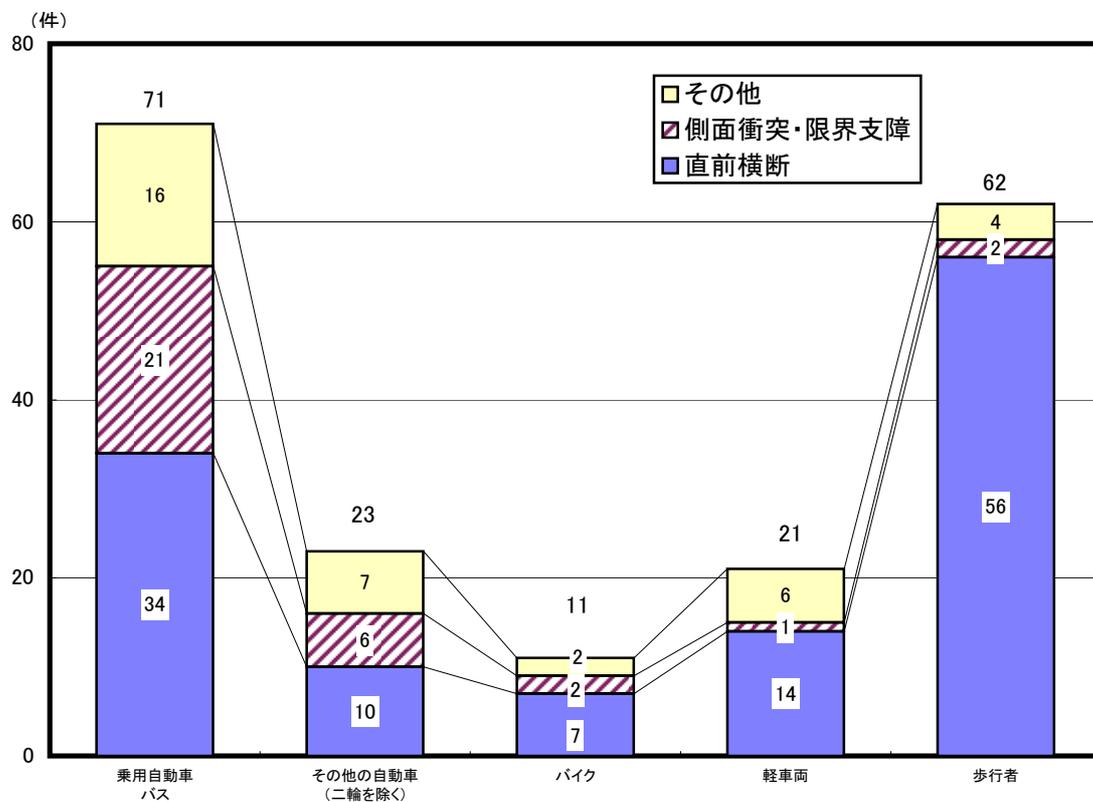


注：踏切事故において「限界支障」とは、自動車等が踏切道の手前で停止した位置が不適切であったために、列車等と接触した事故を指す。

5-③ 衝撃物別・原因別踏切事故件数（JR）

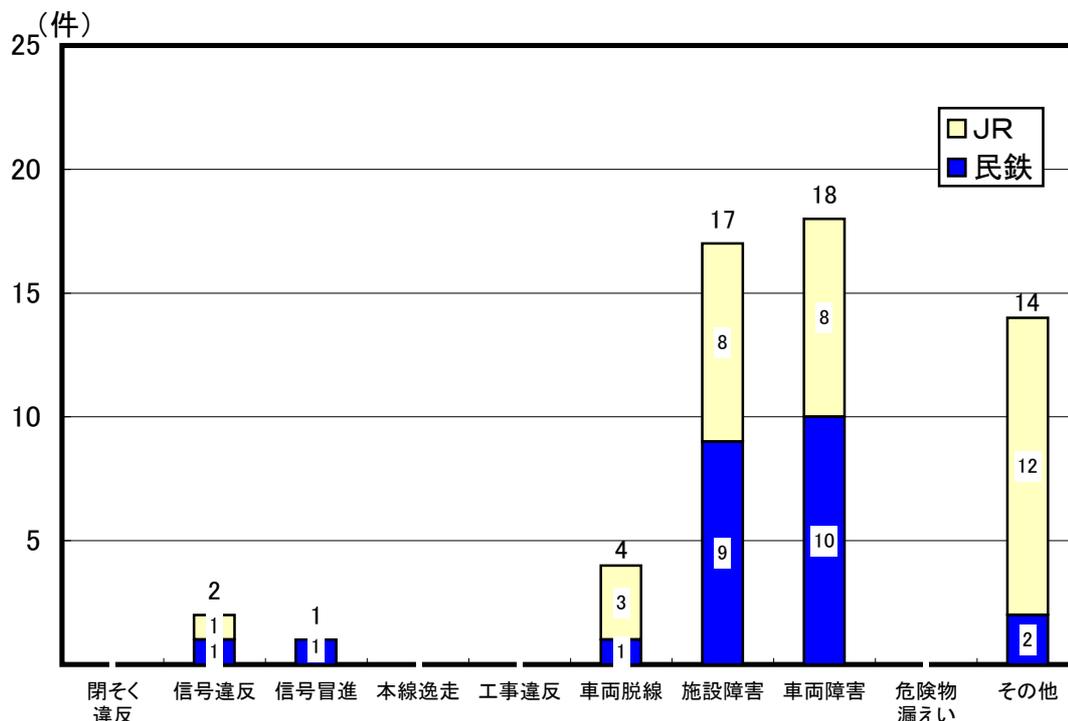


5-④ 衝撃物別・原因別踏切事故件数（民鉄）



## 6 インシデント事態別報告件数

平成17年度に報告のあったインシデントは対前年度比3件(5.1%)減の56件となっており、今後も情報収集・分析に努める。



注：各項目は鉄道事故等報告規則第4条第1項各号に掲げる事態を表す。

閉そく違反；閉そくの取扱いを完了しないうちに、当該閉そく区間を運転する目的で列車が走行した事態

信号違反；列車の進路に支障があるにもかかわらず、当該列車に進行を指示する信号が現示された事態又は列車に進行を指示する信号を現示中に当該列車の進路が支障された事態

信号冒進；列車が停止信号を冒進し、当該列車が本線における他の列車又は車両の進路を支障した事態

本線逸走；列車又は車両が停車場間の本線を逸走した事態

工事違反；列車の運転を停止して行うべき工事又は保守の作業中に、列車が当該作業をしている区間を走行した事態

車両脱線；車両が脱線した事態であって次に掲げるもの  
 イ 本線において車両が脱線したもの  
 ロ 側線において車両が脱線し、本線を支障したもの  
 ハ 側線において車両が脱線したものであって、側線に特有の施設又は取扱い以外に原因があると認められるもの

施設障害；鉄道線路、運転保安設備等に列車の運転の安全に支障を及ぼす故障、損傷、破壊等が生じた事態

車両障害；車両の走行装置、ブレーキ装置、電気装置、連結装置、運転保安設備等に列車の運転の安全に支障を及ぼす故障、損傷、破壊等が生じた事態

危険物漏えい；列車又は車両から危険品、火薬類等が著しく漏えいした事態

その他；上記に掲げる事態に準ずる事態

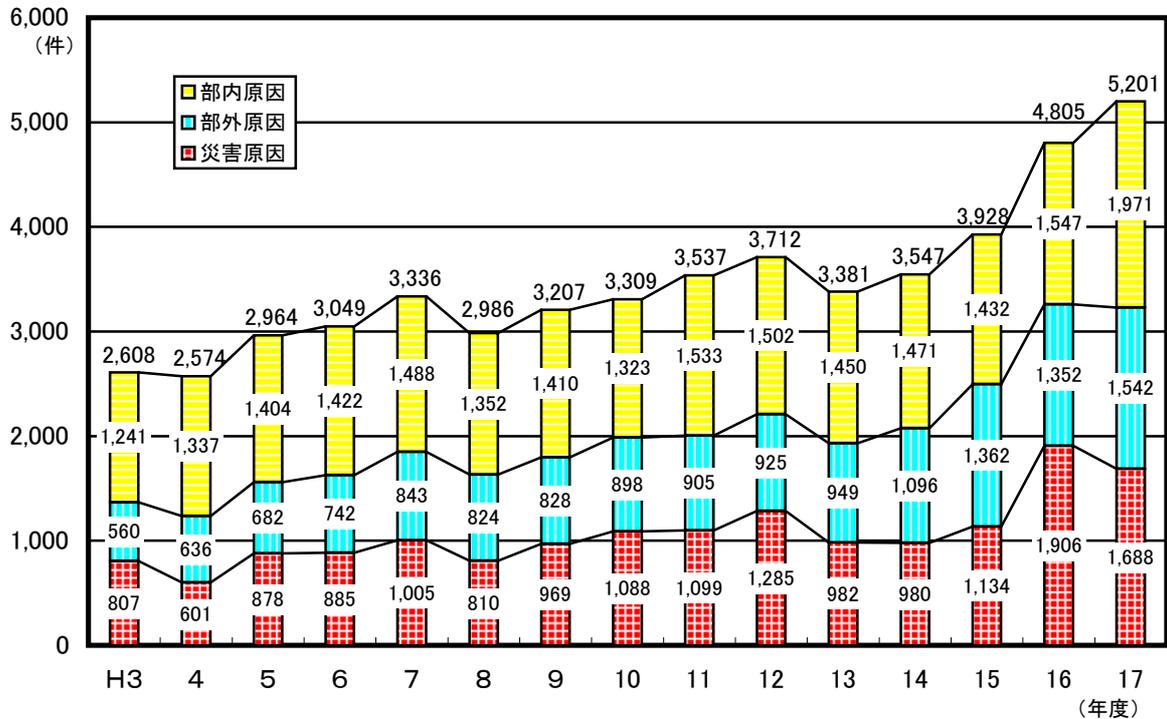
## 7 輸送障害件数の推移

平成17年度の輸送障害件数は対前年度比396件(8.2%)増の5,201件となった。

これまで、線路内支障等の部外原因によるものが増加傾向にあったが、平成17年度においては部外原因によるもののほか、車両故障等の部内原因によるものが大幅に増加した(対前年度比424件(27.4%)増)。

部外原因のうち、自殺による輸送障害は対前年度比7件(1.3%)減の543件となった。

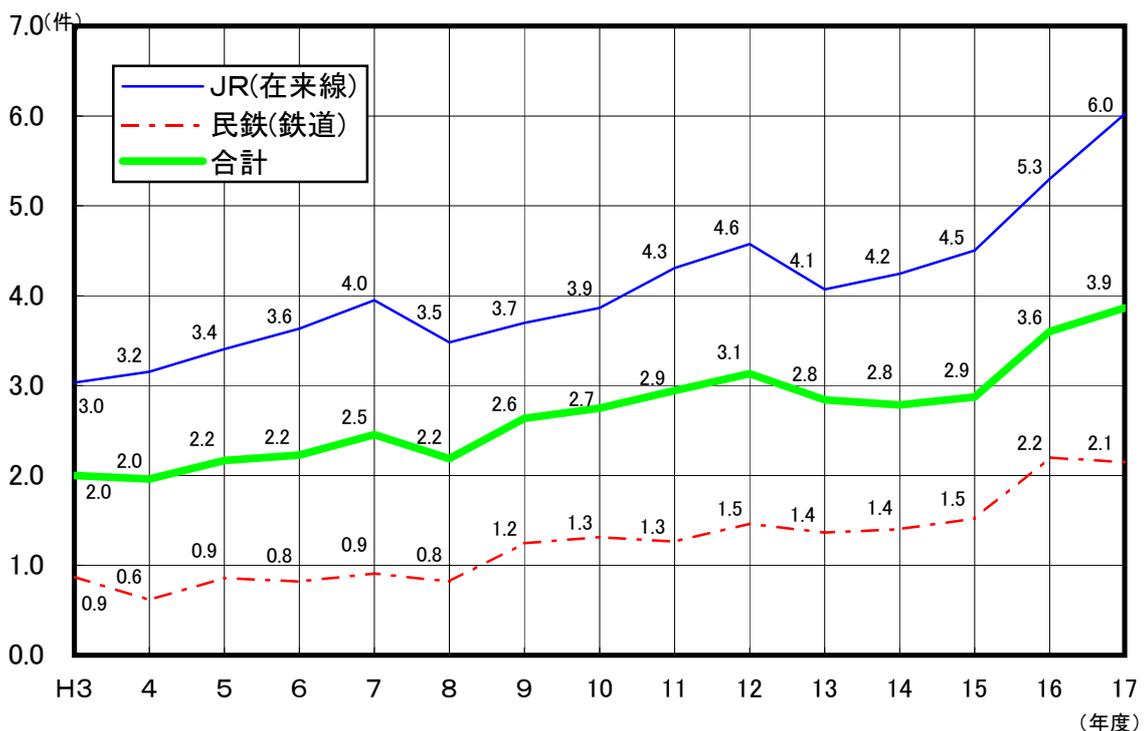
### 7-① 合計



注：輸送障害の原因の詳細は以下のとおり。

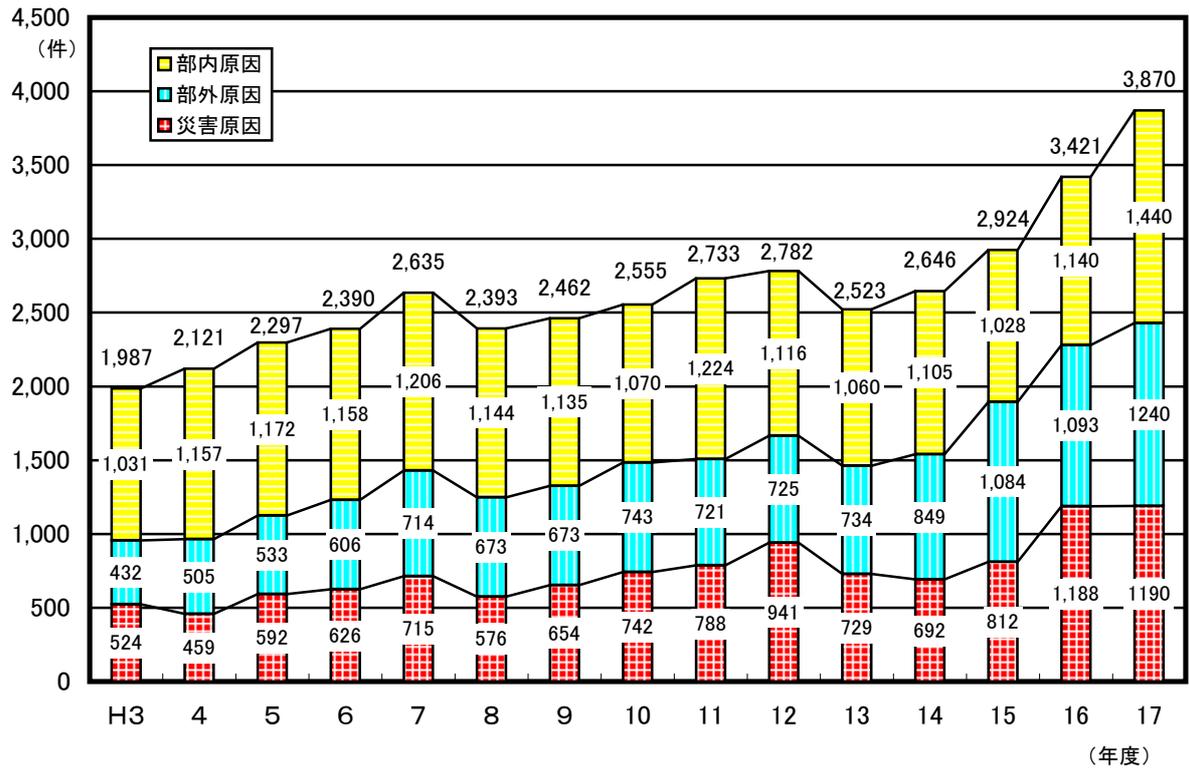
- ・部内原因：鉄道係員の取扱い誤り、車両や鉄道施設の故障等によるもの
- ・部外原因：自殺や自動車の線路内支障等によるもの
- ・災害原因：地震や風水害等によるもの

### 7-② 列車百万キロ当たり輸送障害件数の推移

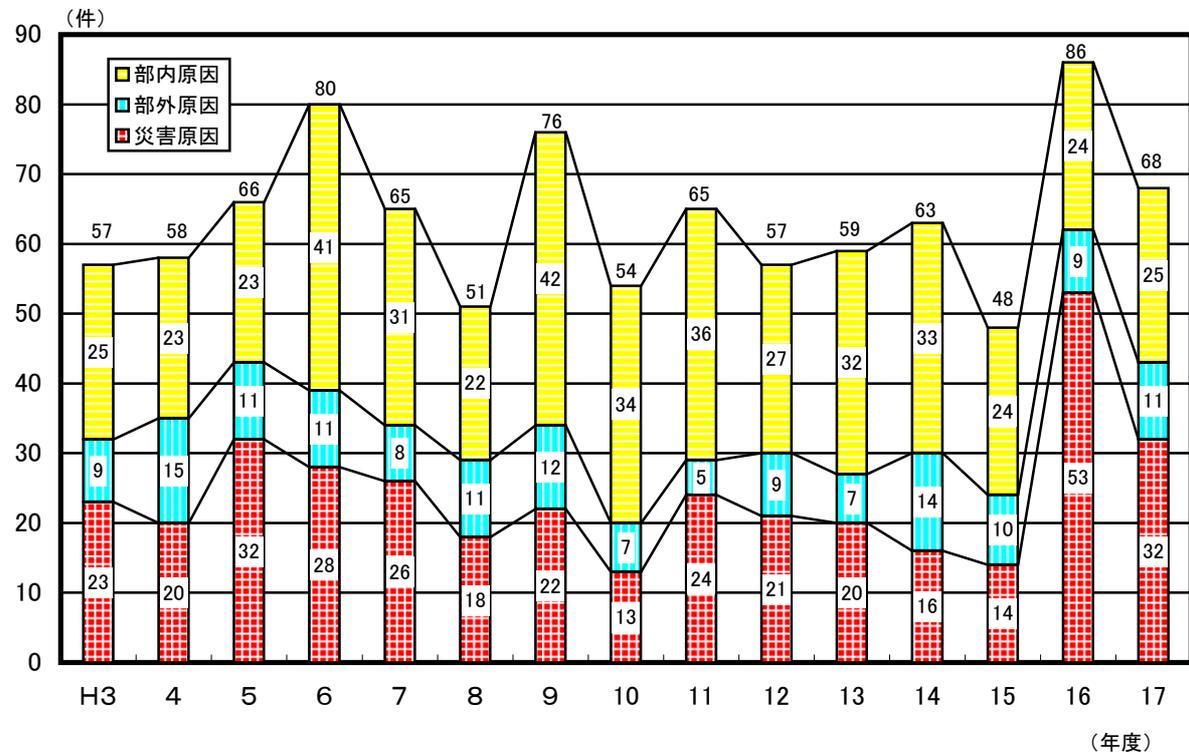


注：列車百万キロ当たり輸送障害件数＝輸送障害件数／列車走行キロ×1,000,000

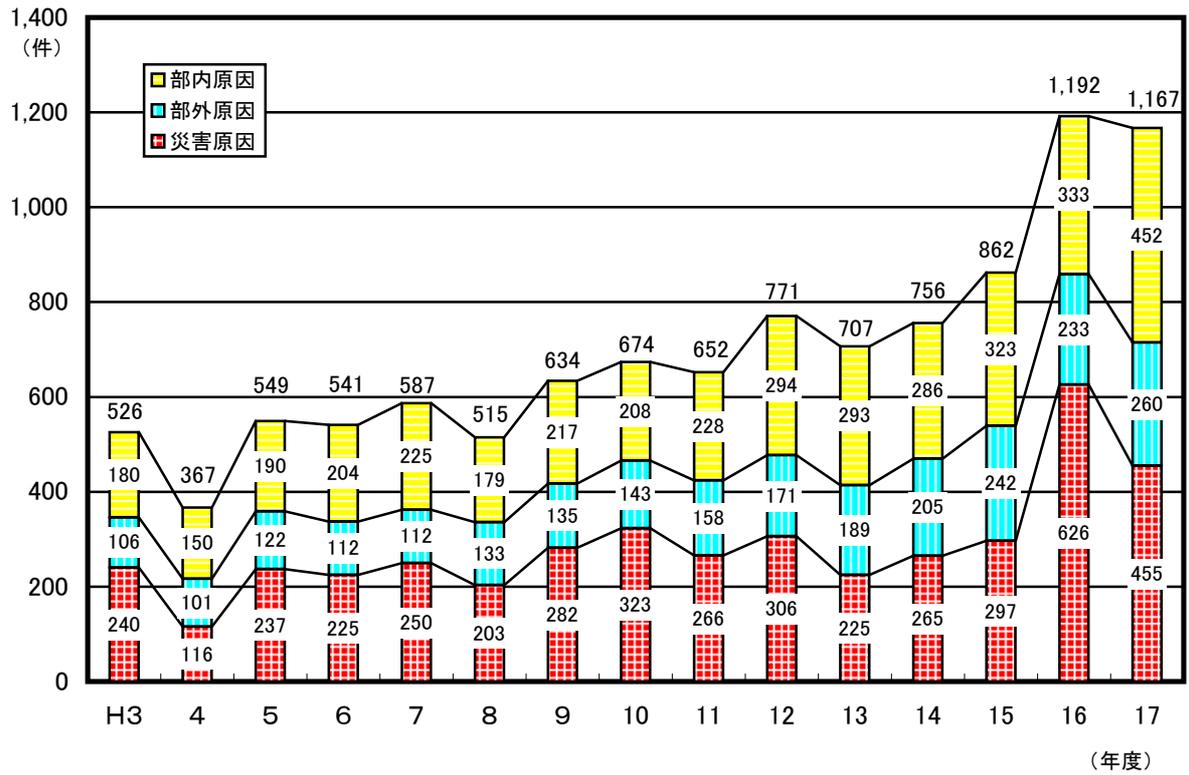
7-③ JR (在来線)



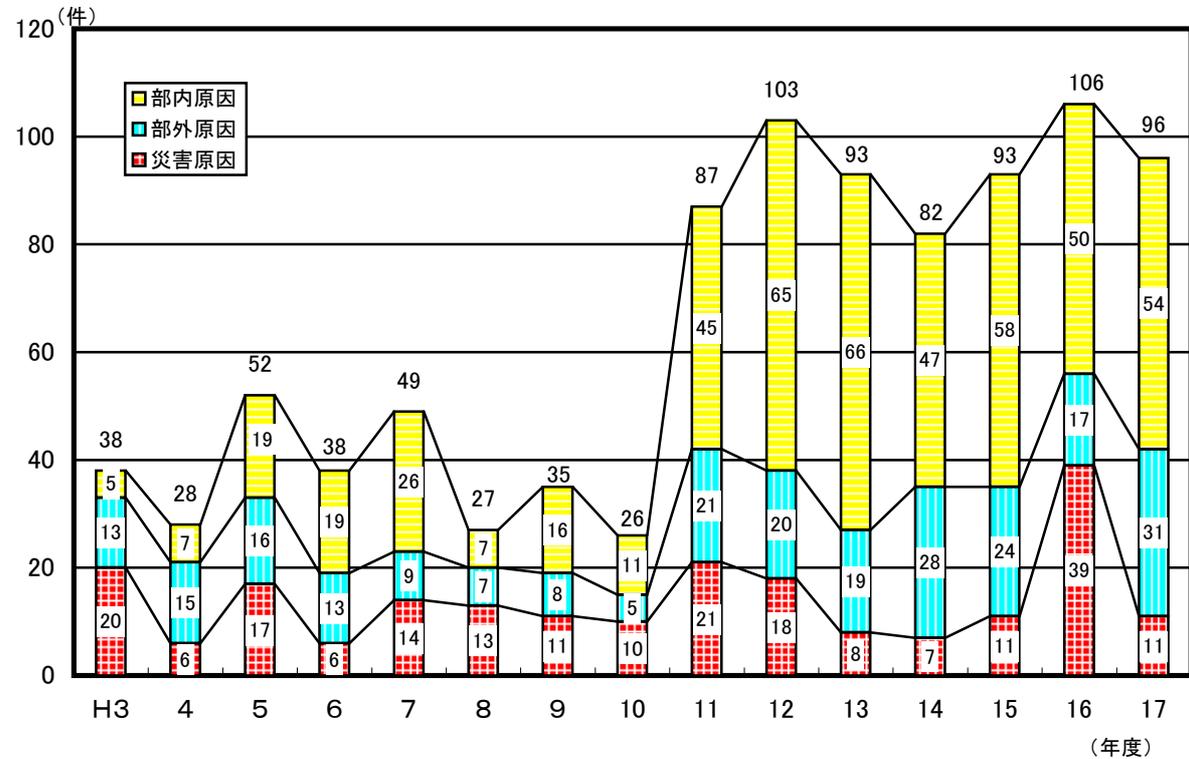
7-④ JR (新幹線)



7-⑤ 民鉄（鉄道）



7-⑥ 民鉄（軌道）



## 8 事業者別運転事故件数（平成17年度）

### 8-① JR（在来線〔7社〕）

事業者名	事故種別	列車衝突	列車脱線	列車火災	踏切障害	道路障害	人身障害	物損	合計	列車百万当たり件数	列車走行キロ (百万キロ)
北海道旅客鉄道		1			11		9		21	0.54	38.9
東日本旅客鉄道			4		74		56	2	136	0.59	230.4
東海旅客鉄道					10		10		20	0.42	47.1
西日本旅客鉄道			2		57		74		133	0.80	165.4
四国旅客鉄道					22		16		38	1.77	21.5
九州旅客鉄道		1	1		41		22		65	1.00	65.3
日本貨物鉄道					14		26	1	41	0.55	74.4
合計		2	7	0	229	0	213	3	454	0.71	643.1

### 8-② JR（新幹線〔4社〕）

事業者名	事故種別	列車衝突	列車脱線	列車火災	踏切障害	道路障害	人身障害	物損	合計	列車百万当たり件数	列車走行キロ (百万キロ)
東日本旅客鉄道									0	0.00	39.2
東海旅客鉄道								1	1	0.02	52.8
西日本旅客鉄道									0	0.00	38.7
九州旅客鉄道									0	0.00	3.2
合計		0	0	0	0	0	0	1	1	0.01	133.9

### 8-③ 大手民鉄（鉄道〔15社〕）

事業者名	事故種別	列車衝突	列車脱線	列車火災	踏切障害	道路障害	人身障害	物損	合計	列車百万当たり件数	列車走行キロ (百万キロ)
東武鉄道					13		8		21	0.53	39.7
西武鉄道					6		6		12	0.56	21.3
京成電鉄					1		5		6	0.49	12.3
京王電鉄					3		4		7	0.49	14.3
小田急電鉄					4		6		10	0.48	20.7
東京急行電鉄					2		1		3	0.18	16.4
京浜急行電鉄					2		2		4	0.24	16.6
相模鉄道					1		2		3	0.57	5.3
名古屋鉄道					17		11		28	0.66	42.3
近畿日本鉄道					19		26		45	0.70	64.5
南海電気鉄道					7		6		13	0.77	17.0
京阪電気鉄道					5		7		12	0.91	13.2
阪急電鉄					2		4		6	0.27	22.4
阪神電気鉄道							3		3	0.41	7.3
西日本鉄道			1		7		8		16	1.65	9.7
合計		0	1	0	89	0	99	0	189	0.59	323.0

### 8-④ 公営地下鉄等（鉄道〔10社〕）

事業者名	事故種別	列車衝突	列車脱線	列車火災	踏切障害	道路障害	人身障害	物損	合計	列車百万当たり件数	列車走行キロ (百万キロ)
札幌市							4		4	0.67	5.9
仙台市							1		1	0.58	1.7
東京都							1		1	0.07	15.0
東京地下鉄							13		13	0.42	31.3
横浜市							1		1	0.22	4.5
名古屋市							4		4	0.35	11.5
京都市									0	0.00	3.2
大阪市							11		11	0.62	17.7
神戸市									0	0.00	3.4
福岡市									0	0.00	3.5
合計		0	0	0	0	0	35	0	35	0.36	97.9

注：東京都はモノレール、大阪市は新交通を含む。

## 9 事業者別輸送障害件数（平成17年度）

### 9-① JR（在来線〔7社〕）

原因 事業者名	部 内					部 外		合計	列車百万 当たり件数	列車走行 扣 (百万キロ)
	鉄道 係員	車両	鉄道 施設	小計	列車百万 当たり件数	鉄道外	自然 災害			
北海道旅客鉄道	14	95	42	151	3.88	77	122	350	8.99	38.9
東日本旅客鉄道	57	373	126	556	2.41	477	356	1389	6.03	230.4
東海旅客鉄道	4	43	19	66	1.40	38	128	232	4.93	47.1
西日本旅客鉄道	30	230	79	339	2.05	504	396	1239	7.49	165.4
四国旅客鉄道	1	13	2	16	0.74	14	23	53	2.46	21.5
九州旅客鉄道	8	55	29	92	1.41	57	93	242	3.71	65.3
日本貨物鉄道	38	176	6	220	2.96	73	72	365	4.90	74.4
合計	152	985	303	1440	2.24	1240	1190	3870	6.02	643.1

### 9-② JR（新幹線〔4社〕）

原因 事業者名	部 内					部 外		合計	列車百万 当たり件数	列車走行 扣 (百万キロ)
	鉄道 係員	車両	鉄道 施設	小計	列車百万 当たり件数	鉄道外	自然 災害			
東日本旅客鉄道	5	10	1	16	0.41	3	1	20	0.51	39.2
東海旅客鉄道		1	2	3	0.06	3	11	17	0.32	52.8
西日本旅客鉄道	4			4	0.10	5	17	26	0.67	38.7
九州旅客鉄道	1	1		2	0.63		3	5	1.57	3.2
合計	10	12	3	25	0.19	11	32	68	0.51	133.9

### 9-③ 大手民鉄（鉄道〔15社〕）

原因 事業者名	部 内					部 外		合計	列車百万 当たり件数	列車走行 扣 (百万キロ)
	鉄道 係員	車両	鉄道 施設	小計	列車百万 当たり件数	鉄道外	自然 災害			
東武鉄道	1	7	9	17	0.43	21	14	52	1.31	39.7
西武鉄道	2	1	3	6	0.28	19	9	34	1.59	21.3
京成電鉄			2	2	0.16	1	3	6	0.49	12.3
京王電鉄				0	0.00	5	3	8	0.56	14.3
小田急電鉄	3	14	3	20	0.97	12	2	34	1.65	20.7
東京急行電鉄	2	4	1	7	0.43	7	1	15	0.92	16.4
京浜急行電鉄		1		1	0.06	1		2	0.12	16.6
相模鉄道	1	2		3	0.57	1		4	0.76	5.3
名古屋鉄道	3	8	3	14	0.33	24	12	50	1.18	42.3
近畿日本鉄道	1	20	9	30	0.47	16	13	59	0.91	64.5
南海電気鉄道		2	1	3	0.18	8	10	21	1.24	17.0
京阪電気鉄道		8	2	10	0.76	6	1	17	1.29	13.2
阪急電鉄	1	6	1	8	0.36	6	2	16	0.71	22.4
阪神電気鉄道	1	9		10	1.37	5	2	17	2.33	7.3
西日本鉄道	1	7		8	0.82	2	4	14	1.44	9.7
合計	16	89	34	139	0.43	134	76	349	1.08	323.0

### 9-④ 公営地下鉄等（鉄道〔10社〕）

原因 事業者名	部 内					部 外		合計	列車百万 当たり件数	列車走行 扣 (百万キロ)
	鉄道 係員	車両	鉄道 施設	小計	列車百万 当たり件数	鉄道外	自然 災害			
札幌市	2	4	2	8	1.35	7	1	16	2.70	5.9
仙台市				0	0.00	2	1	3	1.73	1.7
東京都	5	8	4	17	1.13	8	1	26	1.73	15.0
東京地下鉄	1	8	2	11	0.35	28	4	43	1.37	31.3
横浜市		4	1	5	1.11	2		7	1.55	4.5
名古屋市				0	0.00		1	1	0.09	11.5
京都市			2	2	0.62	1		3	0.94	3.2
大阪市		1		1	0.06	7	1	9	0.51	17.7
神戸市			1	1	0.29			1	0.29	3.4
福岡市				0	0.00	1	3	4	1.14	3.5
合計	8	25	12	45	0.46	56	12	113	1.15	97.9

注：東京都はモノレール、大阪市は新交通を含む。